

2023年2月14日

各位

会社名 株式会社 ブイキューブ
 代表者名 代表取締役会長 間下 直晃
 (コード番号：3681 東証プライム)
 問合せ先 取締役 CFO 経営企画本部長 山本 一輝
 (TEL. 03-6625-5011)

特別損失の計上及び業績予想と実績との差異並びに 配当予想の修正に関するお知らせ

当社は2022年12月期(2022年1月1日～2022年12月31日)において、特別損失を計上いたしました。これにより、2022年11月1日に公表いたしました同期間の連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じました。また、2022年2月10日に公表いたしました2022年12月期の期末配当予想を下記のとおり修正することといたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

当社の製品であるV-CUBEミーティングは、汎用ウェブ会議領域の主力製品として当社の事業を牽引して参りましたが、新型コロナウイルスの影響によりテレワークが社会全般に定着したことによりウェブ会議市場の競争環境が激化しました。この環境変化による当社の事業戦略の転換および低下する同製品の収益性の傾向を踏まえ、当社のソフトウェア資産の将来の回収可能性を検討した結果、2022年12月期にソフトウェアの一部の帳簿価額を回収可能価額まで減損処理を行うことといたしました。

また、製品の最新バージョンのリリースに伴う旧バージョンのソフトウェア資産の他、今後の十分な収益性が見込まれないソフトウェア資産についても併せて減損処理を行うことといたしました。

以上により、特別損失に減損損失として396百万円を計上いたしました。

2. 業績予想と実績との差異

(1) 2022年12月期通期連結業績予想と実績との差異(2022年1月1日～2022年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	12,300	800	700	500	20円60銭
実績値(B)	12,229	675	612	84	3円49銭
増減額(B-A)	△71	△125	△88	△416	
増減率(%)	△0.6	△15.6	△12.6	△83.2	
(参考)前期実績 (2021年12月期)	11,493	1,351	1,232	1,324	54円68銭

(2) 差異の理由

売上高につきましては、イベントDX事業においてコロナ禍の反動による急激なリアル回帰の影響を受けた米国子会社Xyvidが計画を下回ったものの、サードプレイスDX事業におけるテレキューブの需要が堅調に推移し、連結では概ね計画通りとなりました。

営業利益、経常利益につきましては、米国子会社Xyvidを中心としたイベントDX事業の進捗悪化による影響を受け、2022年11月1日に公表した通期連結業績予想を下回る結果となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記「1. 特別損失の発生及びその内容」の通り、減損損失を計上した結果によるものです。

3. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2022年2月10日公表)	—	8.00	8.00
今回修正予想	—	4.00	4.00
当期実績	0.00	—	—
前期実績 (2021年12月期)	0.00	8.00	8.00

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と位置付けております。しかしながら、2022年12月期は上記の通りの通期連結実績となり、「NOPLAT (みなし税引後利益) をベースに20%の配当性向を目安として、将来的には30%を目指す」という配当方針のもと、財務状況に照らして安定的かつ継続的な利益還元を行うため、期末配当予想を4円に修正させていただくことといたしました。

なお、本件につきましては、2023年3月28日開催予定の当社第23期定時株主総会に付議する予定であります。

以 上